



平成27年・28年・29年度
石川県教育委員会指定
「学びの組織的実践推進事業」

研究主題

確かな学力の育成

～分業・共有・PDCA サイクルの
確立を通して～

めざす児童像

- ・「わかった」「できた」と実感し、主体的に学ぶことができる子
- ・お互いの考えを伝えたり聞いたりし合う中で、学び合うことの楽しさを味わえる子
- ・学習の楽しさやよさに気づき、生かしていくことができる子



平成29年10月17日（火）

中能登町立鹿島小学校

組織図

総括チーム（管理職・教務・研究主任）

- 学校長
- ・学校目標の設定
- ・指示
- ・モニタリング
- ・成果の発信

集計
分析

調査・評価部会（集計・分析・検証）

- 教務主任
- ・学力調査等の集計・分析
- ・課題の明確化
- 目標 — 現状
- ↓
- 課題
- ・検証

P

A

研究推進部会

- 研究主任
- ・学力向上プラン（改善プラン）の提案

研修
支援

- ・OJT等による指導力改善

D

D

授業研究部会

- 指導力向上担当
- ・プランの実施
- ・授業研究

学びの土台部会

- 学力向上担当
- ・プランの実施
- ・学習規律
- ・学習基盤



平成29年度 鹿島小学校 めざすゴール

	学力向上プラン		指導力向上プラン	
長期目標	各種調査問題で通過率 基礎・基本 80%以上		活用 70% 以上	
中期目標 1 学期	自校作成活用問題	通過率 75%以上	国語科・算数科思考型授業（単元2割）	達成率 80%
2 学期	自校作成活用問題	通過率 80%以上	国語科・算数科思考型授業（単元2割）	達成率 85%
3 学期	自校作成活用問題	通過率 85%以上	国語科・算数科思考型授業（単元2割）	達成率 90%
短期目標	月毎の取組の確実な実践（90%）（学力向上ロードマップでチェック）			

PA

研究推進部会

【授業研究】

- ・思考型授業を組み入れた単元計画
- ・単元ゴールの可視化・共有化
- ・対話のある学び合い

【学びの土台】

- ・コミュニケーションスキルトレーニング
- ・条件作文
- ・学習規律
- ・家庭学習の充実（パワーアップ週間・思い出しノート）
- ・学習用語貯金
- ・マンツーマン補充タイム



対話のある学び合い



コミュニケーションスキルトレーニング

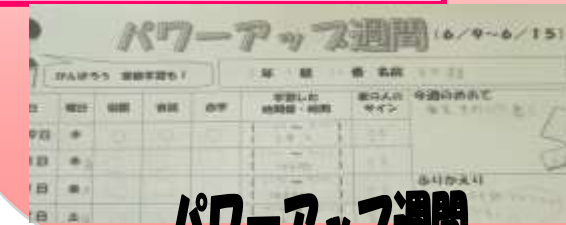
授業研究部会

授業チェックシート

チェック項目	月曜日 (2)日	火曜日 (5)日	水曜日 (6)日	木曜日 (7)日	金曜日 (8)日	1 週間 の評価
思考課題になっているか。 (課題を焦点化しているか)	◎	◎	◎	◎	◎	5/5
課題を児童と作っているか。 (教えるべきことをしたいことに転化させる)	◎	◎	◎	◎	◎	5/5
ゴールを設定(児童の姿)して	◎	◎	◎	◎	◎	5/5
児童の考えが可視化できているか。 (ふきだし、図、表、式、言葉等)	◎	◎	◎	◎	◎	4/5
ペア・グループ学習等の対話の場を	◎	◎	◎	◎	◎	

学びの土台部会

- ・ぼっちり大作戦
- ・パワーアップ週間
- ・帯タイム進捗調査



パワーアップ週間



ぼっちり大作戦

全教職員で共通の取組を！

学校・学年で
共通の取組を！



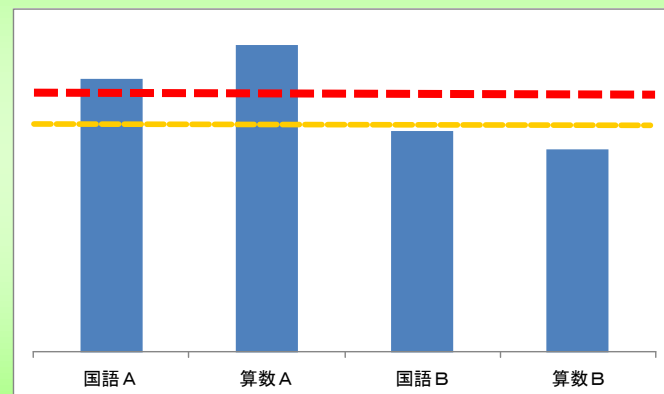
全校集会でモデルの提示

調査・評価部会

集計・分析

4月

全国学力・学習状況調査 自校採点



A問題は
目標値に達する

B問題は
目標値に達せず

出題の趣旨 分析 課題克服ぼっちりシートの作成

【目標値】基礎・基本 80% 活用 70%

H29 鹿島小 算数科 課題克服ぼっちりシート【全国学力調査			
主な課題	学習指導要領の領域・内容	1年	2年
問題場面から見出した数量の関係を考察し、その関係性を言葉や式で表すこと。①(3)	4年D(2) 数量をあらわす式 5年D(2) 数量の関係をあらわす式	●いくつといくつ ●10より大きい数 ●大きい数	●かけ算 ●かけ算(2)
目的に応じて、問題の条件の中から条件に合う必要な情報を選択し、問題解決の方法を数学的に表すこと。②(1)	2年A(2) 加法・減法 3年A(2) 加法・減法 3年D(3) 表と棒グラフ	●あはれると ●のりのはし ●10より ●3つの数 ●じし算 ●どんぶり ●計算どう ●大きい数 ●図を使つ	●かけ算の筆算 ●大きい数のわり算 ●考え方を伸ばそう
測定値の平均を工夫して求めること。③(2)	5年B(3) 量の大きさの測定 値・平均		

どの学年の、どの単元で
重点的に指導するかを明確に！

調査・評価部会

集計・分析

8月

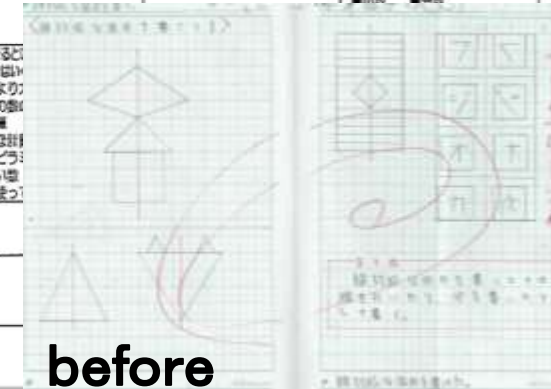
自校作成活用カテスト

- ・自校作成活用カテスト
- ・コンセプトマップ
- ・条件作文



無回答率減少

ノート調査 変更分析



before



after

学びを振り返った
思い出しノート

ロードマップ別業作成

ぼっちりタイム

ミニミニチーム会議

0JTでの指導改善

研修支援

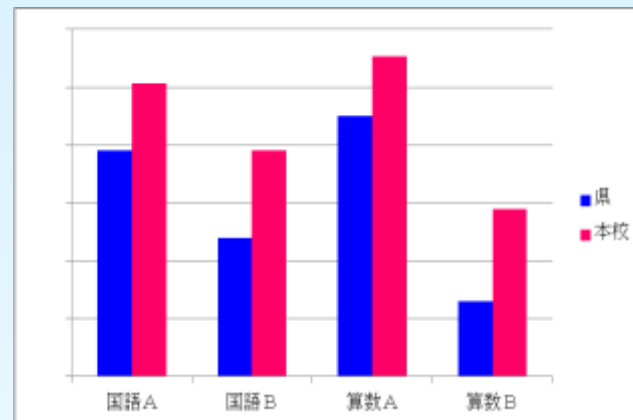
1 サイクル目の成果

- 単元ゴールの可視化・共有化による学力の向上
- 対話のある学び合いによる学習意欲の向上
- ぱっちりタイム・ミニミニ会議による共通理解・共通実践の深まり

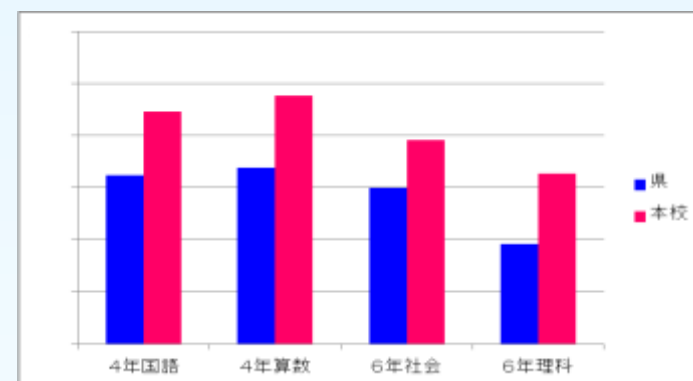
1 サイクル目の課題

- 付けたい力に合った言語活動、活用問題の設定
- D層への対応の工夫
- 対話力を付けるための取組の工夫

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果



平成29年度県基礎学力調査の結果

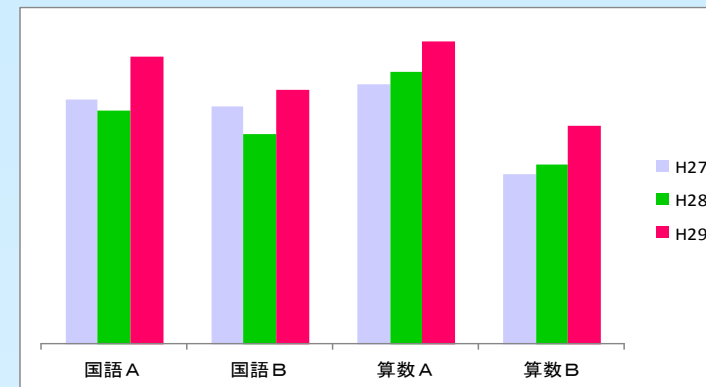


後期学力向上プラン (2サイクル目の改善点)

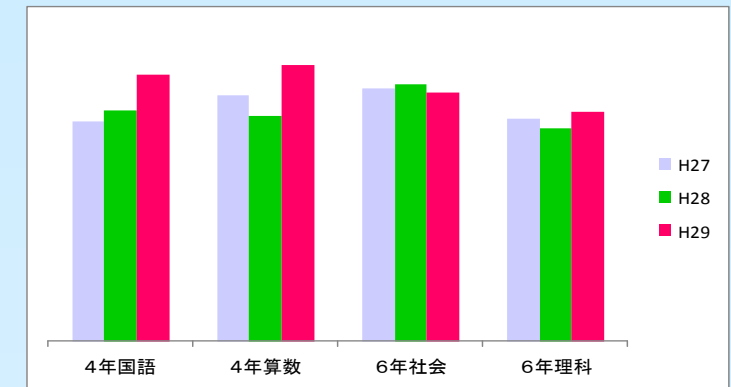
- 課題克服ぱっちりシートの活用の工夫
- ビデオによるコミュニケーションスキルトレーニングの充実

3年間の学力推移（平成27年度～平成29年度6年生）

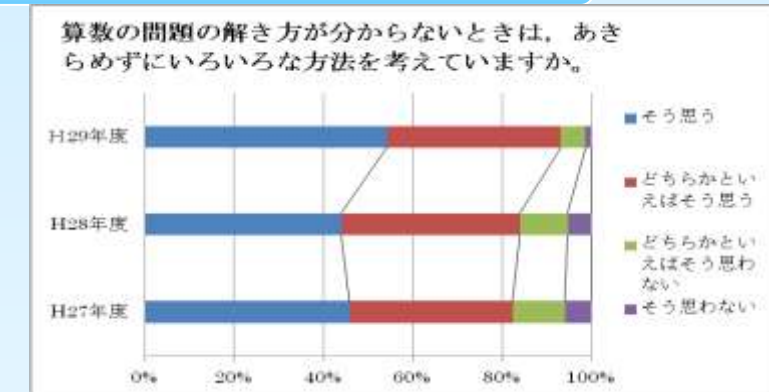
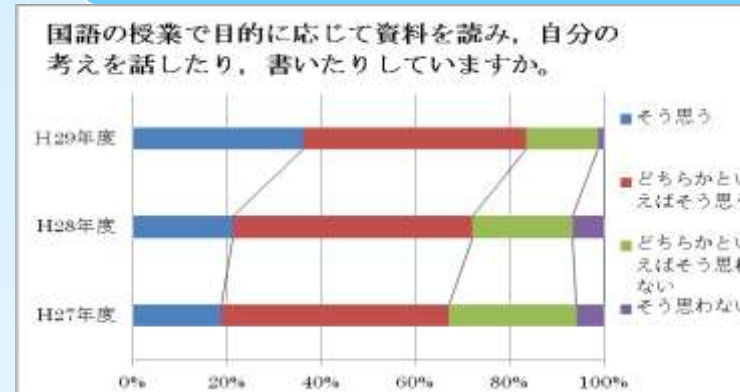
全国学力学習状況調査



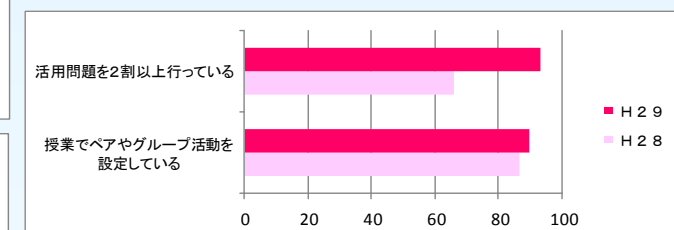
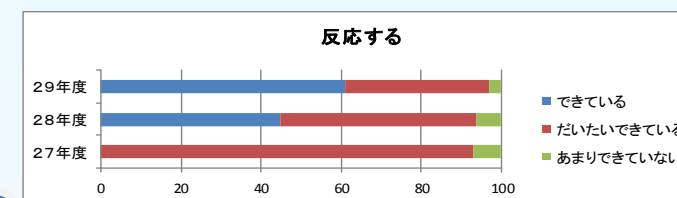
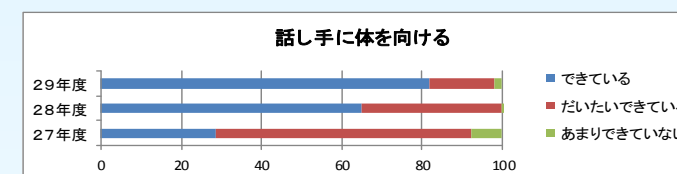
県基礎学力調査



全国学力調査 質問紙クロス集計（平成27年度～平成29年度6年生）



児童・教員アンケート（平成27年度～平成29年度）



成果

- 理解型・思考型授業による児童の確かな学力の定着
- ぱっちり大作戦等による学習の構えの確立
- 学力向上ロードマップの活用による、教員の学力向上への意識の高まり

課題

- 適用問題・活用問題の工夫による児童の更なる学力の向上
- 学び合う場の充実による主体的・対話的で深い学びの実現
- モデル提示とモニタリングによる共通実践の徹底

